

石川県地震概況（令和7年1月）

令和7年2月13日
金沢地方気象台

1. 概況

令和7年（2025年）1月に石川県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は13回（先月37回）で、そのうち12回は令和6年能登半島地震の活動域及びその周辺（図の領域a）で発生しました。

令和6年能登半島地震の活動域とその周辺では、地震活動が活発な状態が継続しています。（令和7年2月 地震防災メモ②を参照）。

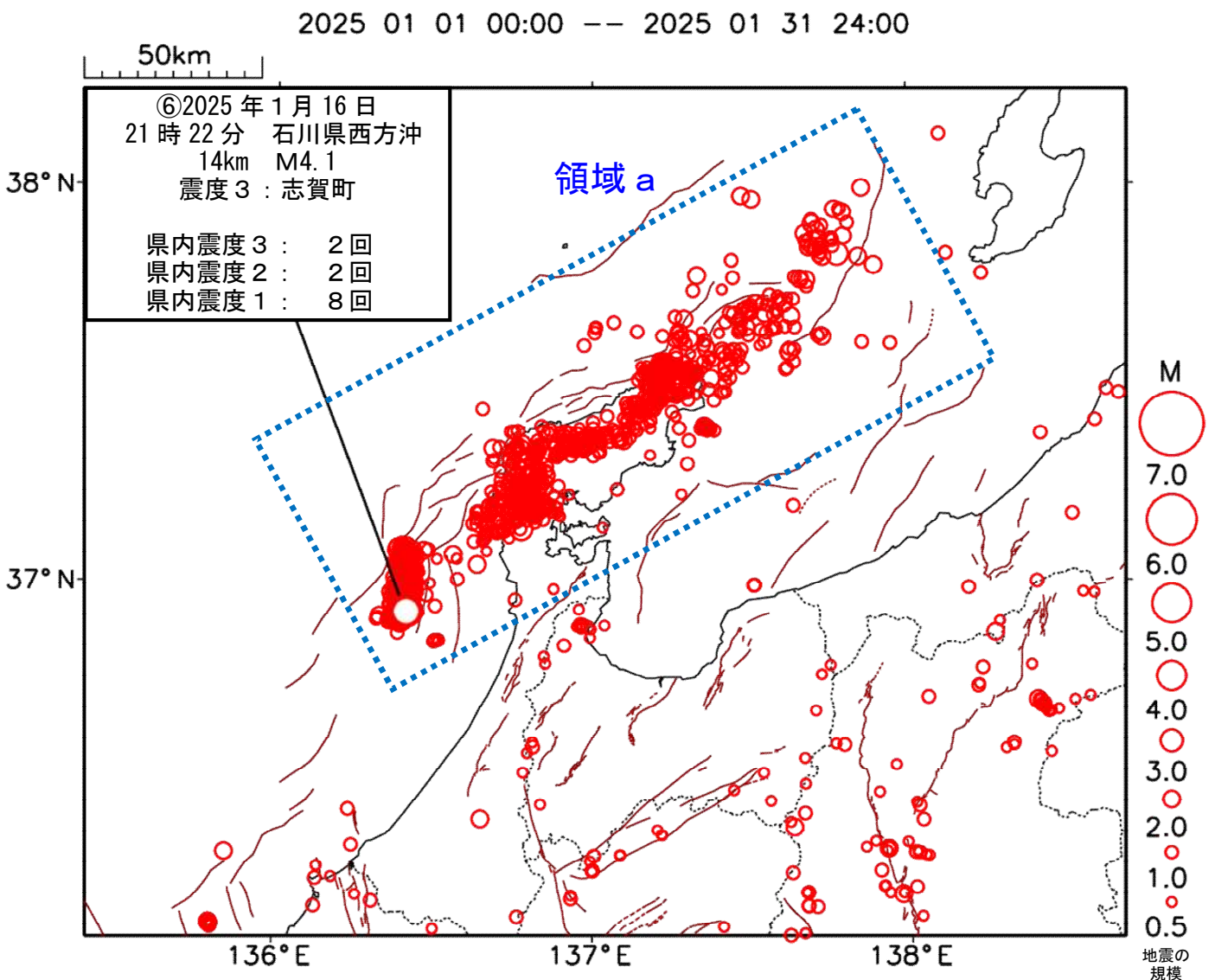


図1 令和7年（2025年）1月の深さ30km以浅、M0.5以上の地震の震央分布図

地殻内で発生した地震のみ表示している。

図の茶色線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

①などの数字は4項「震度1以上を観測した地震の表」の地震を示す。

この資料は速報であり、後日の調査により修正することがあります。

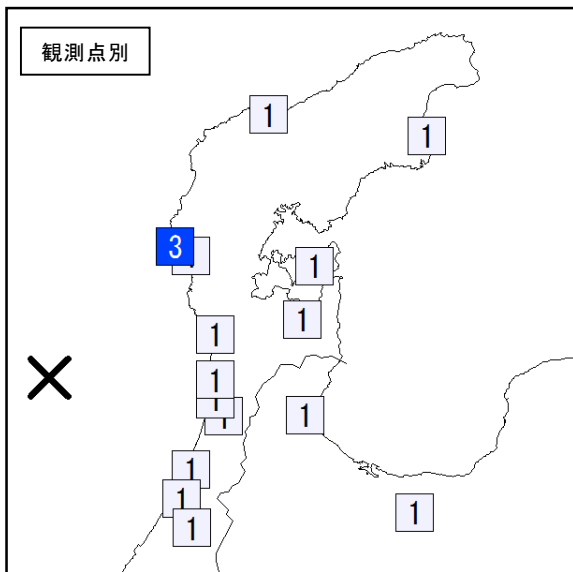
2. 過去1年間に石川県内で震度1以上を観測した地震の震度別回数表

年	2024年												2025年	合計
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		
震度1	97	49	33	20	27	18	12	14	8	88	24	9	399	
震度2	35	17	9	6	5	4	4	4	6	41	12	2	145	
震度3	11	4	4	2	1	1	1	0	0	6	1	2	33	
震度4	3	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	5	
震度5弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
震度5強	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
震度6弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
震度6強	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
震度7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	146	70	46	28	35	23	17	18	14	137	37	13	584	

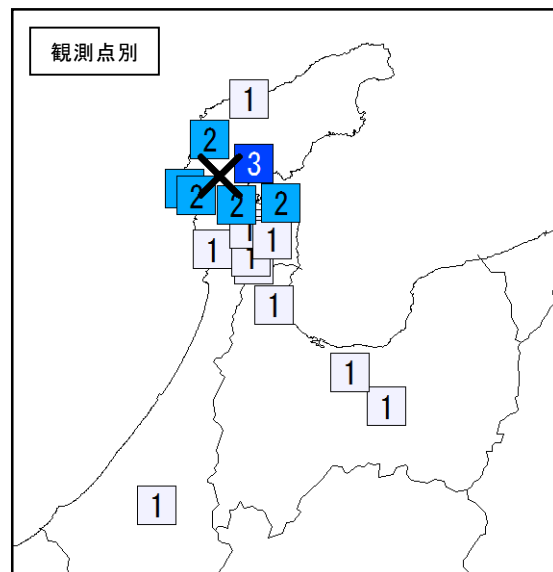
3. 令和7年（2025年）1月に石川県内で震度1以上を観測した地震の震央と震度分布図 ※令和6年能登半島地震の活動域（領域a）の地震活動については最大震度3以上の震度分布図のみ掲載。

震度1以上の地震については気象庁HP「震度データベース検索」※を参照

※ <https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.html>

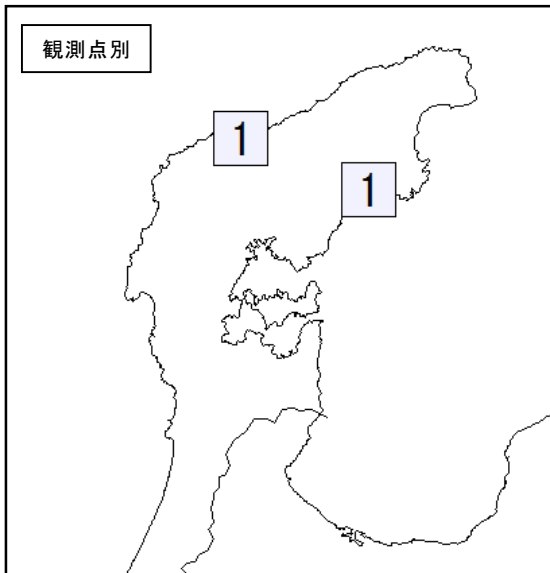


⑥1月16日21時22分 石川県西方沖
深さ 13km M 4.1 (石川県周辺)

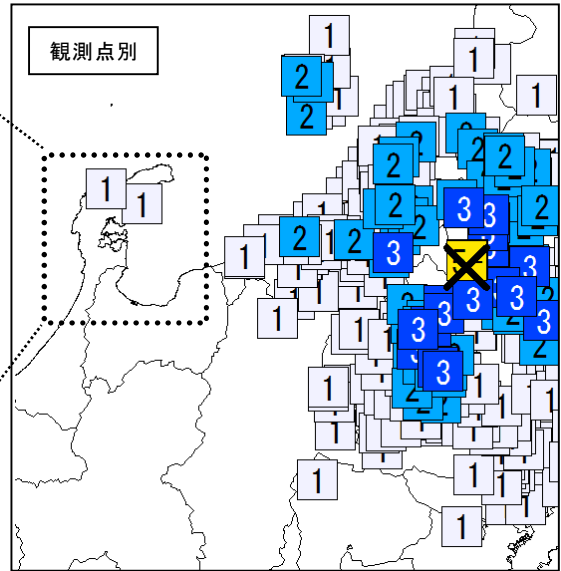


⑬1月29日08時58分 石川県能登地方
深さ 11km M 4.0 (石川県周辺)





⑨1月23日02時49分 福島県会津
深さ 4km M 5.2 (能登地方)



⑨1月23日02時49分 福島県会津
深さ 4km M 5.2 (広域)

4. 令和7年(2025年)1月に石川県内で震度1以上を観測した地震の表

番号	地震の発生日時	震央地名	緯度	経度	深さ	地震の規模
①	1月6日16時50分	石川県西方沖	36° 55.8' N	136° 23.4' E	13 km	M 3.4
	震度1 : 志賀町香能*					
②	1月8日23時49分	石川県能登地方	37° 08.2' N	136° 46.5' E	8 km	M 3.5
	震度2 : 七尾市中島町中島*, 志賀町富来領家町, 志賀町香能*					
	震度1 : 七尾市本府中町, 七尾市垣吉町*, 輪島市鳳至町, 羽咋市旭町*, 穴水町大町*					
③	1月10日23時43分	能登半島沖	37° 08.9' N	136° 38.5' E	9 km	M 2.7
	震度1 : 志賀町香能*					
④	1月11日05時54分	石川県西方沖	37° 04.0' N	136° 25.6' E	8 km	M 3.6
	震度1 : 志賀町香能*					
⑤	1月12日00時15分	石川県西方沖	36° 55.4' N	136° 25.1' E	10 km	M 3.3
	1月12日00時16分	石川県西方沖	36° 55.4' N	136° 25.2' E	12 km	M 3.2
	震度1 : 志賀町香能*					
⑥	1月16日21時22分	石川県西方沖	36° 55.7' N	136° 24.9' E	13 km	M 4.1
	震度3 : 志賀町香能*					
	震度1 : 七尾市本府中町, 七尾市能登島向田町*, 輪島市鳳至町, 羽咋市柳田町, 羽咋市旭町*, 志賀町富来領家町, 志賀町末吉千古*, 宝達志水町子浦*, 能登町松波*, 津幡町加賀爪, かほく市宇野気*, かほく市高松*					
⑦	1月18日10時07分	石川県西方沖	36° 56.6' N	136° 22.7' E	12 km	M 3.3
	震度1 : 志賀町香能*					
⑧	1月20日13時26分	石川県能登地方	37° 11.5' N	136° 41.9' E	6 km	M 2.6
	震度1 : 志賀町香能*					
⑨	1月23日02時49分	福島県会津	36° 58.6' N	139° 22.8' E	4 km	M 5.2
	1月23日02時49分	福島県会津	36° 58.6' N	139° 22.8' E	4 km	M 2.4
	1月23日02時49分	福島県会津	36° 58.6' N	139° 23.0' E	5 km	M ---
	震度1 : 輪島市鳳至町, 能登町宇出津					

⑩	1月23日04時47分	石川県西方沖	37° 04.3' N	136° 33.7' E	11 km	M 2.6
	震度2：志賀町香能*					
⑪	1月25日10時15分	石川県能登地方	37° 20.0' N	136° 46.0' E	8 km	M 3.1
	震度1：輪島市鳳至町					
⑫	1月28日07時31分	石川県能登地方	37° 09.3' N	136° 41.6' E	8 km	M 2.4
	震度1：志賀町香能*					
⑬	1月29日08時58分	石川県能登地方	37° 11.5' N	136° 48.1' E	11 km	M 4.0
	震度3：穴水町大町*					
	震度2：七尾市能登島向田町*、七尾市中島町中島*、輪島市門前町走出*、志賀町富来領家町、志賀町香能*					
	震度1：七尾市本府中町、七尾市袖ヶ江町*、七尾市垣吉町*、輪島市鳳至町、志賀町末吉千古*、中能登町末坂*、中能登町井田*、白山市別宮町*					

石川県で震度1以上を観測した地震について、石川県内の各地の震度を掲載しています。

*の付いた観測点は石川県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点、他は気象庁の観測点です。

⑤の地震は、近接した地域で地震が連続して発生したため、震度を分離できませんでした。

この資料は速報であり、後日の調査により修正することがあります。

※この資料に関する問い合わせ先 金沢地方気象台 地震担当 電話番号 076-260-1462

金沢地方気象台ホームページにも掲載しています。 <https://www.data.jma.go.jp/kanazawa/shosai/siryou.html>

「トップページ」>「気象台の刊行物・観測統計資料」>「農業気象速報・気象概況・地震概況・気象年報」から閲覧できます。

※本資料中のデータについて

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています

「令和6年度能登半島地震」に関する「地震調査委員長見解」を公表

2024年1月1日に発生したマグニチュード7.6の地震から約1年が経過したことなどを踏まえ、地震調査委員会としての情報発信をより強化するために、「地震調査委員長見解」を令和7年1月15日に公表しました。その一部を抜粋して紹介します。

【概要】

石川県能登地方では、2020年12月から地震活動が活発になっており、活動当初は比較的規模の小さな地震が継続する中、2022年6月にM5.4の地震（最大震度6弱）、2023年5月にM6.5の地震（最大震度6強）などの規模の大きな地震が発生し、2024年1月には、一連の活動の中で最大規模の地震であるM7.6の地震（最大震度7）が発生しました。

2023年12月までの地震活動の範囲は能登半島北東部の概ね30km四方の範囲でしたが、M7.6の地震の直後からの地震活動は非常に活発になり、北東-南西に延びる150km程度の範囲に広がりました。

その後、M7.6の地震の地震活動域では、時間の経過とともに活動が徐々に低下してきていますが、そのような中で2024年6月にM6.0の地震（最大震度5強）、11月にM6.6の地震（最大震度5弱）が発生するなど、引き続き規模の大きな地震が発生しています。

今回の地震活動のように、数年にわたって続く上に、M7.6の地震に加えてM6.6、M6.5のようなM6クラスの規模の大きな地震が何度も発生するような陸・沿岸域の地震活動は、日本ではこれまでに観測されたことはありません。

【防災上、留意して頂きたいこと】

2020年12月からはじまった地震活動は、数カ月から年単位など長い期間で見ると、全体としては2024年1月のM7.6の地震以降低下しつつあります。

しかし、依然として地震活動が活発であることや地殻変動も継続していることを踏まえると、月単位では、現時点程度の活発な地震活動が当分継続することが予想されます。

加えて、時々大きな地震が発生し、さらに活発になることもあります。

一連の活動の中では、既に2024年1月にM7.6の地震、11月にM6.6の地震が発生するなど規模の大きな地震が発生していますが、日本海側では平成5年（1993年）北海道南西沖地震（M7.8）のように、最大規模の地震発生から数年程度経った後も、M6程度の地震が発生した事例があります。また、能登半島の周辺では、今回の2020年12月からの一連の地震活動以前にも「平成19年（2007年）能登半島地震」など、M6程度以上の被害を伴う規模の大きな地震が発生しています。

これらのことを踏まえると、M7.6の地震後の活動域及びその周辺では、地震の規模やお住まいの地域によっては今後も当分の間、強い揺れに注意が必要です。

また、海底で規模の大きな地震が発生した場合、津波に注意する必要があります。

改めて、日頃からの地震への備えを確認することが大切です。

○詳細資料は、地震調査委員会のホームページに掲載しています。

https://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2025/2024_noto_kenkai.pdf

【防災事項】

- 2024年1月1日に発生したM7.6の地震により揺れの強かった地域では、家屋の倒壊や土砂災害などの危険性が高まっているので、復旧活動などを行う場合には今後の地震活動や降雨の状況に十分注意。やむを得ない事情が無い限り危険な場所に立ち入らないなど身の安全を図る。
- 地震は海域でも発生しており、大きな地震が発生した場合は津波が発生することがあるので、避経路の確認などの備えも重要。
- 一連の活発な地震活動は当面継続するので、家具の固定、重量物の落下・転倒の防止を行うなど、強い揺れを伴う地震へ注意。
- 石川県では、大雨の影響で地盤が脆弱になっている場所があり、土砂災害の危険性が通常より高いと考えられる。
- 冬季の積雪が深いほど地震時に住宅にかかる負担が大きくなることから、住宅等の屋根の積雪状況についても留意。

【概況】

石川県能登地方では、2020年12月から地震活動が活発で、2023年5月頃からさらに活発となったあと、いったん地震活動が2020年12月以降の状態に戻ったが、2024年1月1日のM7.6の地震により、最大震度7を観測するなど能登半島を中心に強い揺れとなり、地震活動の更なる活発化とともに地震の発生領域も広がった。

2024年1月1日から1年以上が経過し、地震の発生数は増減を繰り返しながら、大局的には緩やかに減少してきているが、11月26日にM6.6の地震が発生するなど2024年1月1日のM7.6の地震後の活動域及びその周辺では、約4年間続く地震活動が依然として活発な状態。

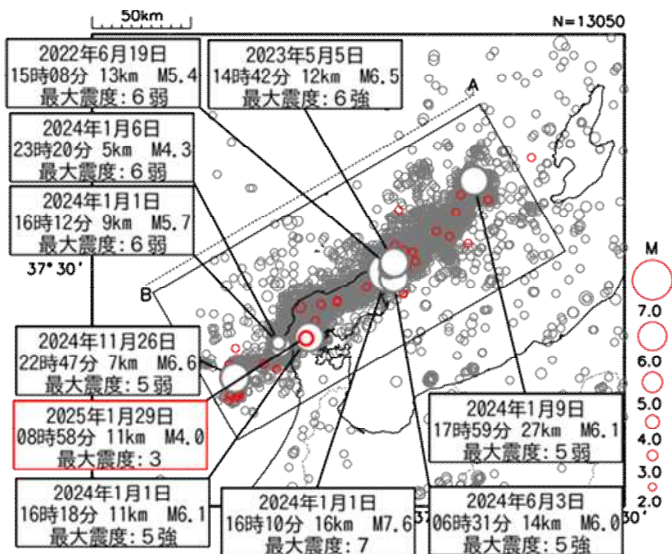
今期間（1月21日以降）、震度1以上の地震を6回観測した。今期間の最大規模の地震はM4.0の地震（1月29日08時58分、穴水町で震度3）である。

※震度は震度計のある場所で観測したものを発表している。震度1以上の地震情報を発表していない場合でも、震源直上の現地では揺れや音などを感じていると考えられる（地下の浅いところで発生する地震の場合、震源直上の震度はマグニチュードの数値に相当する傾向が見られる。例えばM2程度なら震度2程度、M4程度なら震度4程度の目安）。

震央分布図 2020.11.1~2025.2.3 24時まで
M2.0以上、深さ30km以浅

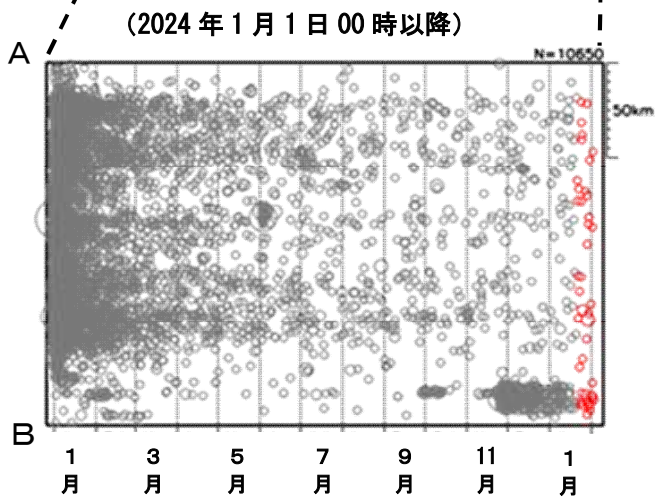
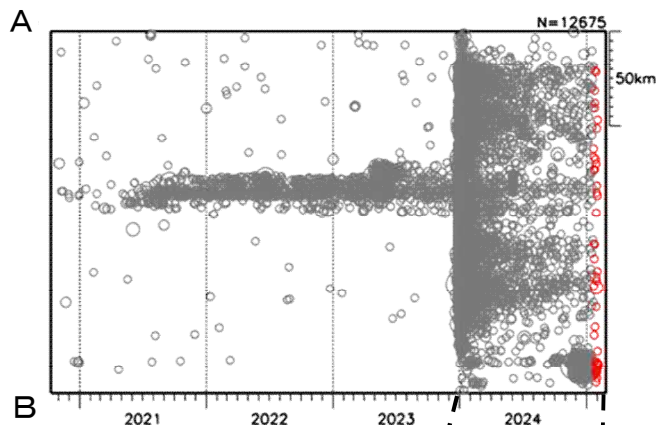
黒の吹き出しは、2024年1月1日以降の
震度6弱以上またはM6.0以上の地震

※1月21日以降の地震を朱色で表示
(赤の吹き出しは期間内最大M及び最大震度の地震)



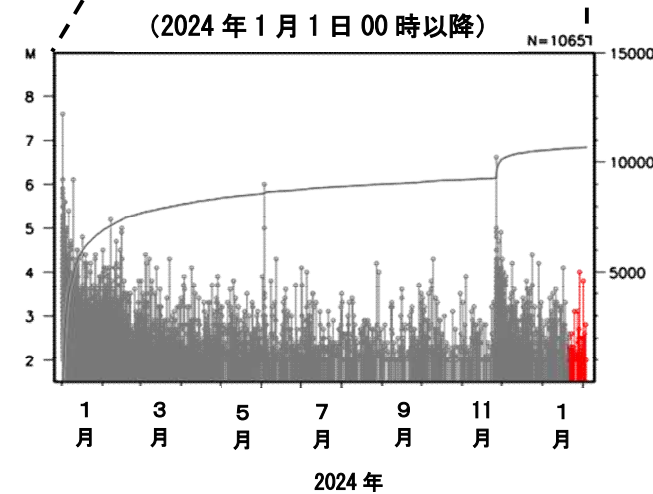
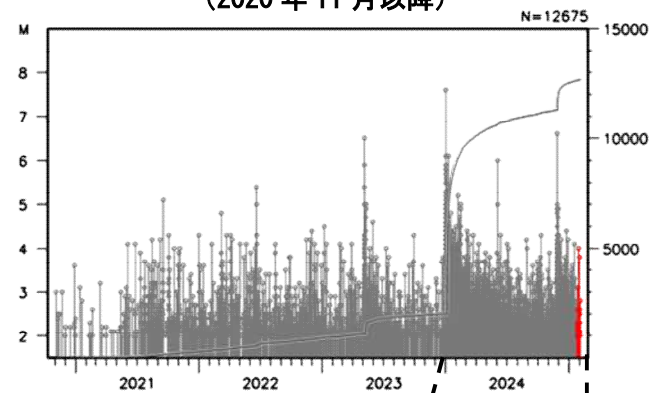
丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。
表示している震源のうち、2月3日00時以降の
ものは速報値。

時空間分布図
(矩形領域内:A-B投影、2020年11月以降)



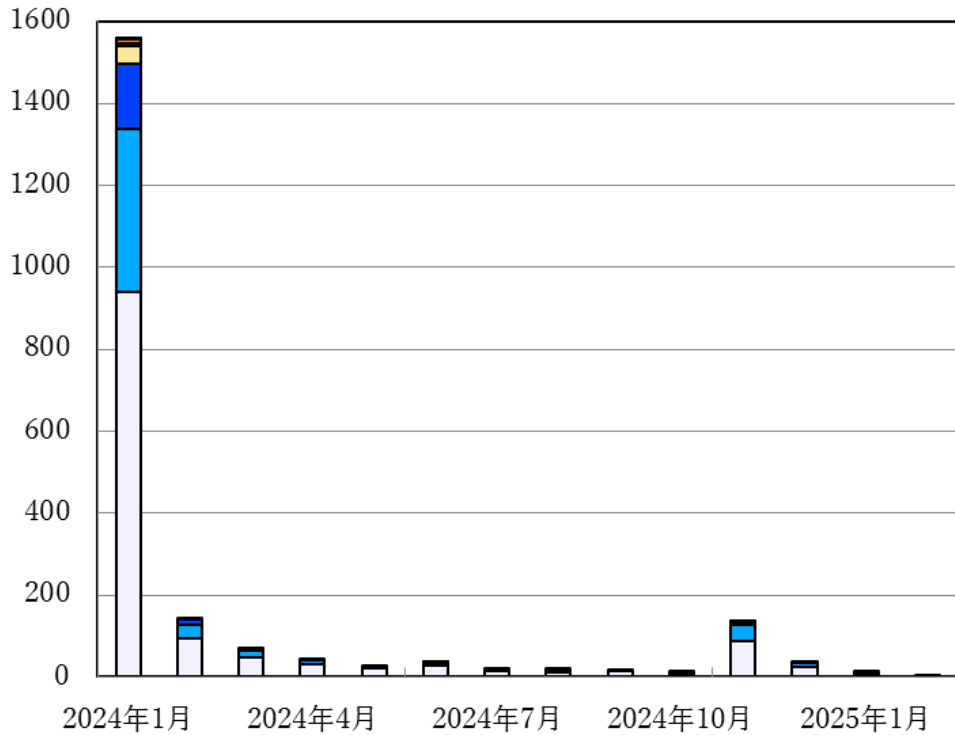
2024年

矩形領域内の地震活動経過図
(2020年11月以降)

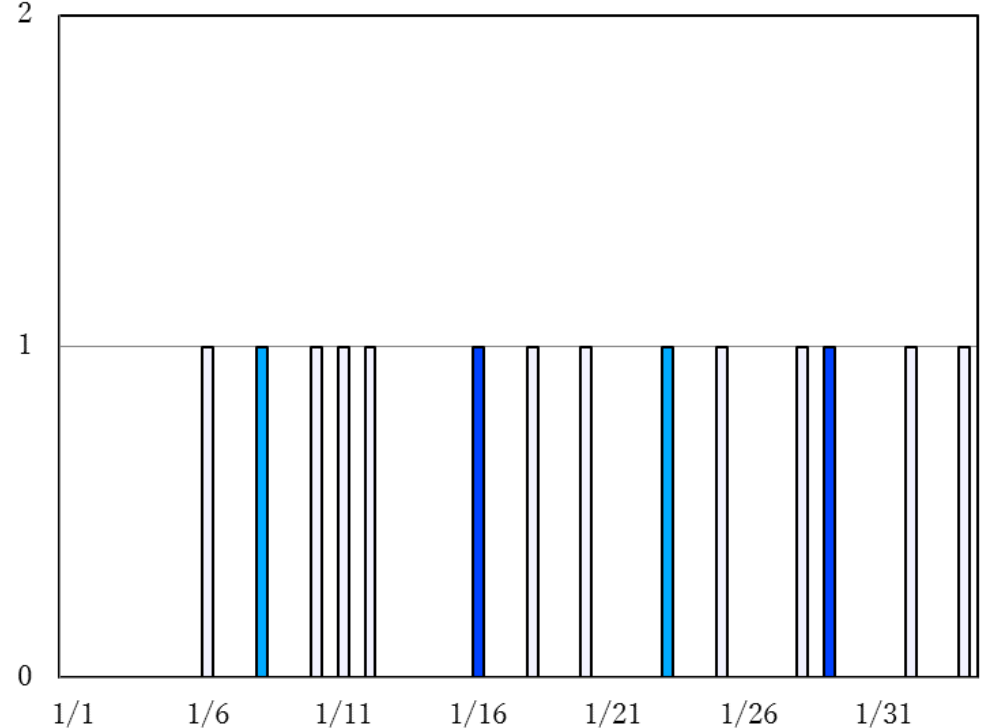


令和6年能登半島地震の日別・震度別震度回数(令和6年1月1日以降)

震度1以上の地震の月別回数 (2024年1月~2025年2月)



震度1以上の地震の日別回数(2025年1月1日~2月3日)



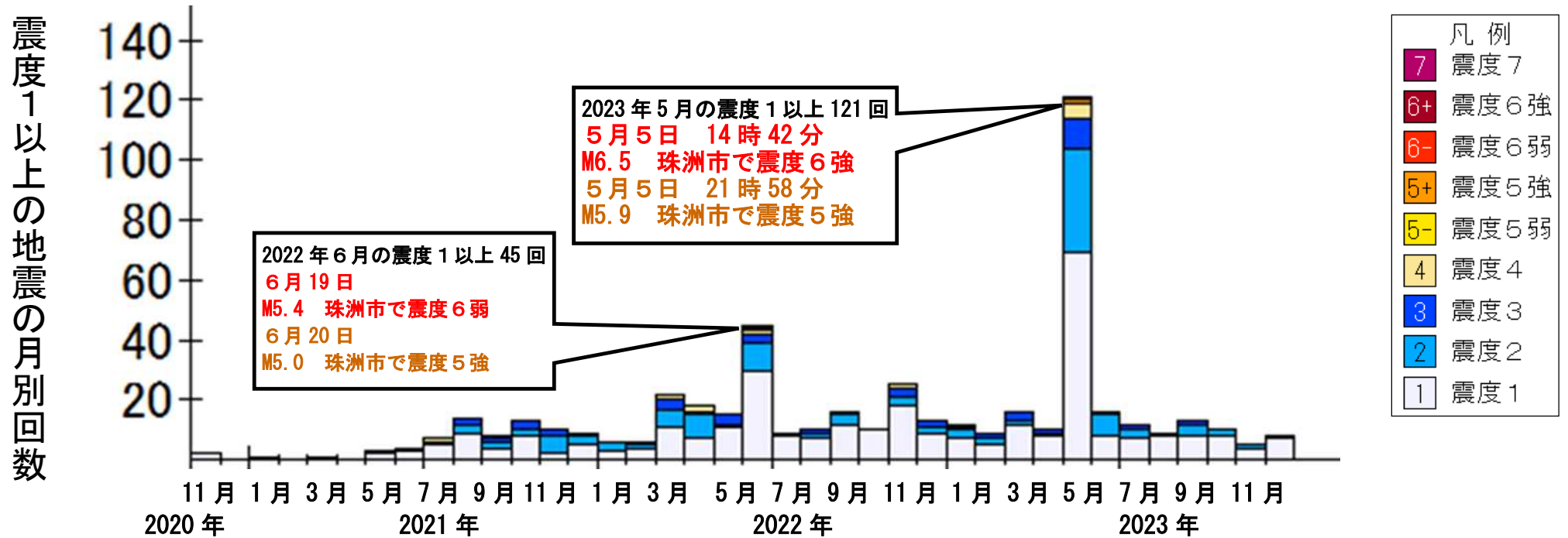
- 凡例
- 7 震度7
 - 6+ 震度6強
 - 6- 震度6弱
 - 5+ 震度5強
 - 5- 震度5弱
 - 4 震度4
 - 3 震度3
 - 2 震度2
 - 1 震度1

令和6年能登半島地震の地震活動による日別・震度別震度回数グラフ
(2024年1月1日~2025年2月3日 24時まで)

○ 1月に震度1以上を観測した地震は1558回。1月1日から3日は1日100回を超えていたが、次第に回数は減少。2月は144回、3月は70回、4月は45回、5月は28回、6月は35回、7月は20回、8月は18回、9月は18回、10月は14回、11月は136回、12月は37回、2025年1月は12回、2月は2回観測した。

(注)掲載している値は速報のもので、その後の調査で変更する場合があります。

令和6年能登半島地震の地震活動による月別・震度別震度回数(令和5年12月31日まで)



令和6年能登半島地震の地震活動による月別・震度別震度回数グラフ
 (2020年11月1日～2023年12月31日まで)

※令和6年能登半島地震の地震活動と防災事項については、下記のポータルサイトが充実していますので、こちらも参照願います(この資料も掲載しています)。

○金沢地方気象台HP「石川県能登地方の地震活動と防災事項ポータルサイト」

<https://www.data.jma.go.jp/kanazawa/shosai/notojishinportal.html>